

令和元年 ごみ減量部会 環境保全課委託事業 ごみ減量・3R活動推進講習会(1)

環境講演会 第1回

演題(テーマ) : 生ゴミ堆肥で美味しく安全で環境保全的な野菜づくり
講師 : 愛媛大学 大学院農学研究科 教授
上野 秀人 先生

日時 : 令和元年 8月31日(土)(13:30~15:30)
場所 : 新居浜市総合福祉センター ふれあいプラザ 研修室1

講演内容

- ・世界的な食の危機と環境汚染
- ・未来の子供たちのために私たちができること
- ・堆肥化の仕組み
- ・ミミズの効果
- ・有機物の施用効果(作物生育と品質)

参加者 : 40名

昔の野菜と最近の野菜の違いは何か? 化学肥料と生ゴミたい肥の違いは何か? など興味深く、丁寧に教えていただきました。



良い野菜の簡単な見分け方

- ・旬の野菜
- ・新鮮であること
- ・見た目より重い
- ・葉菜類は緑色が濃くない
- ・葉の形が揃っており、切れ込みが深い
- ・香りが高い
- ・張りがある。葉先がピンとしている。
- ・根菜類は茎や葉が小さい。葉も食べる。



写真「野菜の豊穡」より

生ごみを利用した家庭菜園の価値

- ・資源(肥料・エネルギー)を節約できる。
- ・生ごみ処理費用が掛からない。
- ・土、水、大気を汚さない。
- ・健康になることができる。
- ・食料自給率を高めることができる。
- ・高品質で美味しい野菜を食べることができる。
- ・農業の楽しさと奥深さを知ることができる。
- ・子孫たちに美しい地球を残すことができる。

写真「野菜の豊穡」より